

(別紙4(2))

事業所名            そうごうケアホーム下鴨

作成日:            令和            3年            7月            28日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議での地域包括からの意見は取り入れているが従来の参加者の意見が聞けていない。	コロナ禍により集まったの会議が開催できないが従来、参加されている方々(民生員・地域住民等)の意見も取り入れた会議録を作成していく。	作成する前の段階で意見照会を行いその内容をフィードバックし関係者様に伝達していく。	12ヶ月
2	11	毎月のフロア会議は実施できているが施設全体での会議が行えていない。	フロア会議とは別に運営に関する会議を別日で設け周知できるようにしていく。	法人としての決定事項や連絡事項に関しては新たに会議を開き会議体を分けることでメリハリのある運営と人材育成に繋げていく。	6ヶ月
3	23	ケアプラン見直しの際、本人様や家族様の意見や要望を聞き取りし介護記録や申し送りを行っているが職員によつての差があり細かなプラン作成までできていない。	入居時のアセスメントはもちろん、入居後のアセスメントにもより一層力をいれ職員間での情報共有も密に行いプラン作成をしていく。	各入居者様に対してのセンターシートを作成・活用することにより細かな部分まで把握できるようにしケアの質を向上できるようにしていく。	6ヶ月
4	33	入居時に「重度化した場合に係る指針」・「看取りに関する指針」を作成し説明しているが重度化・看取り(終末期)に関しての施設での実績が現状ない。	終末期を迎えられた方に対してのケア内容や医療機関との体制を構築し密に連絡ができる体制を整えていく。	施設内でも終末期に備えた職員研修も定期的に行うことにより周知していく。また、各医療機関とも往診時に上記の内容も今後備えて詰めていく。	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。